

資料5

適応ビジネスのご紹介

～ LIFEの基盤を支え、
「未来につづく安心」を創造する製品 ～

2021年3月11日
積水化学工業株式会社
ESG経営推進部

20分



積水化学グループについて

気候変動の適応に資する製品・サービスの紹介

気候変動課題の解決の今後の方向性



積水化学グループについて





【概要】

SEKISUI

社 名	積水化学工業株式会社 (SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.)
設 立	1947年3月3日
資 本 金	1,000億円
代 表 者	代表取締役社長 加藤敬太
従 業 員 数	27,003名 (2020年3月末日現在)
売 上 高	11,292億円 (2020年3月期連結ベース)
経 常 利 益	869億円 (2020年3月期連結ベース)
本 社	<u>大阪本社</u> 〒530-8565 大阪市北区西天満2丁目4番4号 06-6365-4122 <u>東京本社</u> 〒105-8566 東京都港区虎ノ門2丁目10番4号 03-6748-6460 http://www.sekisui.co.jp/
U R L	



大阪本社



東京本社



積水化学グループのESG経営とは



サステナブルな社会の実現に向けて、
LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造します。



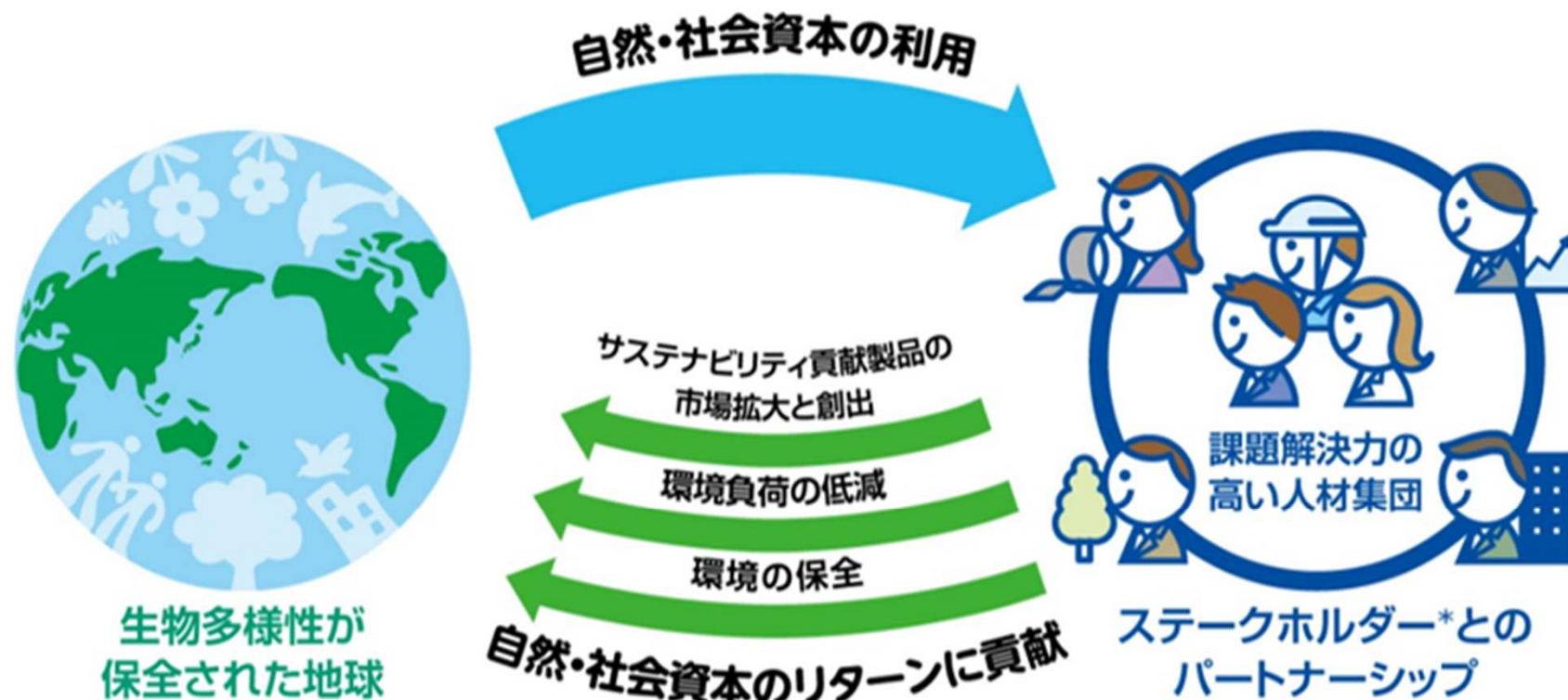
事業ドメイン

SEKISUI





「SEKISUI環境サステナブルビジョン2050」



*ステークホルダー：「お客様」、「株主」、「従業員」、「取引先」、「地域社会・地球環境」

ステークホルダーと連携し、**2050年**を見据えた環境課題解決を加速

気候変動の適応に資する製品・サービスの紹介



①水インフラの強靱化



②交通インフラの強靱化



③通信インフラの強靱化



④レジリエントな暮らしの支援

①水インフラの強靱化一例 1

雨水貯留システム「クロスウェーブ」

気候変動適応への貢献：エリア毎に増大している水リスクに応じて
水害被害の抑制及び水不足の解消に貢献



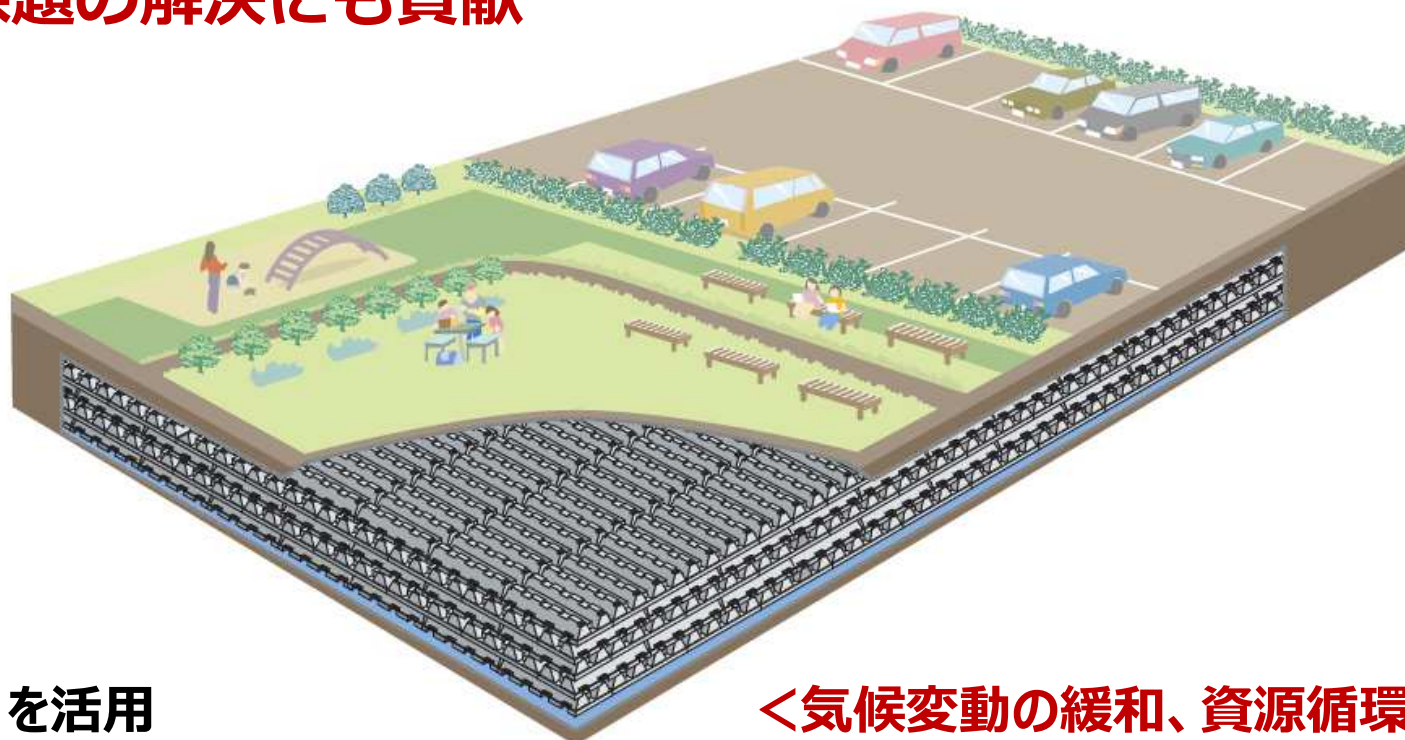
縦1m×横1m×高さ0.18-0.22m
のブロック材

ブロック材を90度ずつ交差することで生まれる
「隙間（すきま）」が水の貯水空間に



施工が簡単で、養生機関も不要で短納期

複数課題の解決にも貢献

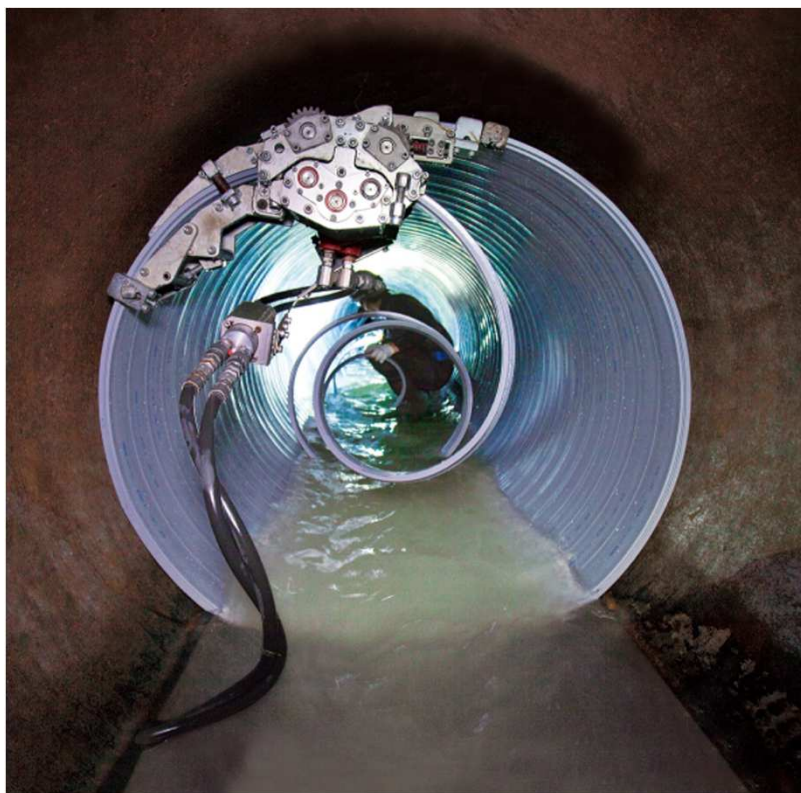


- ・再生 P P を活用 **<気候変動の緩和、資源循環>**
- ・高い空隙率（95%）で高耐荷重設計により、陸地の利活用可能 **<生物多様性の保全>**
- ・地下に埋設することで豪雨時に雨水を一時貯留
河川に流れ込む雨水量を調節、下水道からのオーバーフローを制御
貯留水の活用 などの効果 **<気候変動の適応、水リスクの低減>**

①水インフラの強靱化一例 2

下水管更生 – S P R 工法

気候変動適応への貢献：老朽化した下水管路が多発する集中豪雨の際に破壊し、道路陥没などの事故を防ぐ



- ・ **SPR工法**：道路を掘削せず、通水しながら、更生。マンホールから挿入した塩ビの帯状プロフィールを老朽下水管の内側で勘合させる。
- ・ 「**SPR-NX**」を昨年上市。より**安全・低騒音・短工期**で施工可能。
製管機の小型化で、**流下阻害ほぼゼロ**。



②交通インフラの強靱化

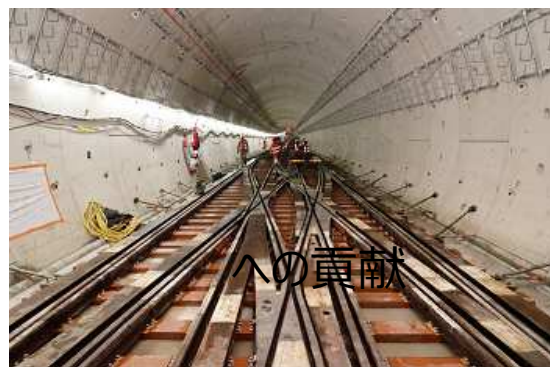
SEKISUI

合成木材まくら木 – F F U

気候変動適応への貢献：鉄道が災害時にも安全走行できるよう、
鉄道の線路を耐久性の高い素材に。



ドイツ国鉄



フランス(パリ地下鉄)

軽量性、高強度、高耐久性が求められる、橋梁や分岐部などで採用拡大。寒冷地でも高評価。

- 自然環境保護、**環境規制物質の使用禁止(EU:2023年～)**などにより、採用加速。
- 2020年現在、世界31か国で販売実績有り。
オランダに生産拠点設立を決定。(2022年度稼働予定)

合成木材
F F Uとは



- ガラス長繊維強化
プラスチック発泡体
- 高い耐久性、高強度
を有する材料



③通信インフラの強靱化

電線、通信ケーブルの地中埋設 CC-BOX

気候変動適応への貢献：多発する水災害時に倒壊や分断が生じないように、電柱を地下に埋設するインフラ格納BOX





④レジリエントな暮らしの支援－例 1

SEKISUI

縮災の家 セキスイハイムの進化



気候変動適応への貢献：多発する水災害などによる被害を抑制し、
ライフラインを守ることにより暮らしのリカバリーを助ける設備・設計を提案

エネルギーの確保

フィルム型蓄電池：
ソーラーエネルギーを蓄える
大容量でコンパクトな蓄電池



災害時に影響を受けない
場所への蓄電池設置設計
(2階、室内設置)

V to Heim：
電気自動車の蓄電池と連動し、有事の際の
移動手段、電源確保に

飲料水の確保



④レジリエントな暮らしの支援－例 2

レジリエントなまちづくり

気候変動適応への貢献：レジリエントな地下のインフラ基盤、土地造成とレジリエントな機能をもつ住宅、室内設備からなる新しいまちづくり

・工業化住宅の技術を中心に、スマート&レジリエンスな“まちづくり”に貢献

“まちづくりプロジェクト”を全国へ展開【第1弾 朝霞は完成へ】

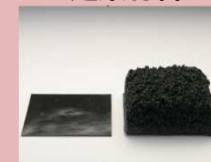


スマートハウス



PV・蓄電池・HEMS等

建築材料



熱膨張耐火材「フィブロック」

インフラ



強化プラスチック複合管「RCP」



雨水貯留材「クロスウェーブ」

ソフトウェア



セキュリティ / タウンマネジメント



気候変動課題解決の今後の方向性



[TCFD]シナリオ分析の活用

気候変動を抑制するため様々な施策が取られるシナリオ

(A)脱化石スマート社会



都市集中が進むシナリオ

(B)循環持続社会



地方分散が進むシナリオ

(D)大量消費社会



(C)地産地消社会



気候変動により気温上昇して災害頻発に備えるシナリオ

シナリオ分析によって、企業リスクを把握し、早期に取り組むことがチャンスであると考えて、施策、戦略を展開



事業ドメインにおける社会課題の解決

SEKISUI



Vision 2030 LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造します

世界にまた新しい世界を。

A new frontier, a new lifestyle.

SEKISUI